



千葉県看護協会

「令和6年度 看護職定着確保動向調査（求職者）」結果概要

離職理由は「人間関係」50.0%、「健康上の理由」25.0%、「ハラスメント」17.9%

調査の概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の「就職活動をしている」未就業看護職
調査時期	令和6年5月10日～令和6年5月31日
調査方法	調査依頼をメールと郵便ハガキにて案内し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：185名 回答数：28名 回答率：15.1%

調査結果のポイント

1. 回収状況と回答者の属性

- 今年度は185名に配布し、回答数は28名で、回答率は15.1%であった。前年度は、調査票を170名に郵送し、回答はWeb回答で回収数は32名で、回収率は18.8%であった。比較し、3.7ポイント減少した。
- 年齢は、「40代」が32.1%と最も多く、次いで「30代」25.0%、「50代」17.9%の順であった。
- 居住地区は、「千葉地区」が25.0%で最も多く、次いで「東葛地区」17.9%、「船橋地区」14.3%の順であった。
- ブランク期間は、「0～3年」の71.4%が最も多く、次いで「6～10年」17.9%、「4～5年」7.1%の順であった。

2. 離職時の職種、雇用形態、勤務形態

- 離職時の職種は、「看護師」が最も多く78.6%、次いで「准看護師」17.9%、「助産師」3.6%の順であった。
- 離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く64.3%、次いで「非常勤職員」25.0%、「派遣」10.7%の順であった。
- 離職時の勤務形態は、「日勤のみ」が最も多く57.1%、次いで「二交代制」が25.0%、同率で「三交代制」「短時間勤務」7.1%の順であった。

3. 看護業務の通算勤務年数、離職直前の施設での勤務年数

- 看護業務の通算勤務年数は、「1年未満」が最も多く25.0%、次いで「15～19年」21.4%、「1～3年」14.3%の順であった。
- 離職直前の施設での勤務年数は、同率で「1年未満」「1～3年」が最も多く35.7%、次いで「4～6年」14.3%、「7～9年」7.1%の順であった。

4. 離職理由

○離職理由は、「人間関係」が最も多く 50.0%、次いで「健康上の理由」25.0%、「ハラスメント」17.9%の順であった。

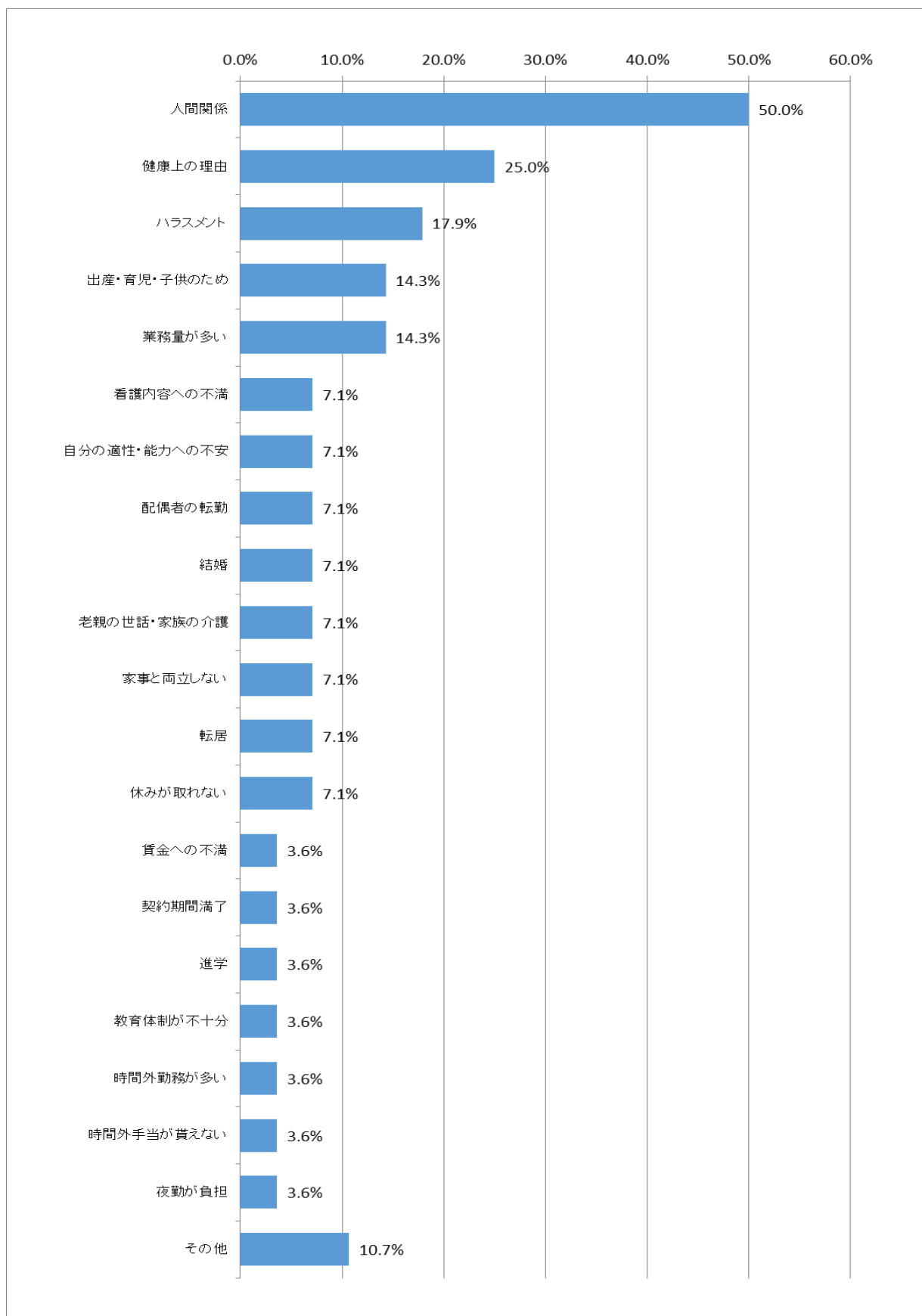


図1 離職理由

5. 人間関係が難しかった相手

○離職理由で「人間関係」を選択した人に人間関係が難しかった相手を尋ねると、「師長等中間管理職」が最も多く 64.3%、次いで「先輩」42.9%、同率で「同僚」「看護管理者」28.6%であった。

6. 「看護内容への不満」の具体的理由

○離職理由を「看護内容への不満」と回答した 2 名の具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」「医療処置が多い」「患者とのコミュニケーションの時間がとれない」がそれぞれ 1 件ずつだった。

7. 「賃金への不満」の具体的金額

○離職理由を「賃金への不満」と回答した 1 名は、現在の時給 1,250 円だが、希望する時給は 2,500 円だった。

8. 就業条件

○就業条件は、同率で「休みがとりやすい」「希望する時間帯の勤務」が最も多く 46.4%、次いで同率で「通勤に便利な職場」「残業がない（定時に帰宅できる）」が 21.4%、自分の希望する給与 17.9%の順であった。

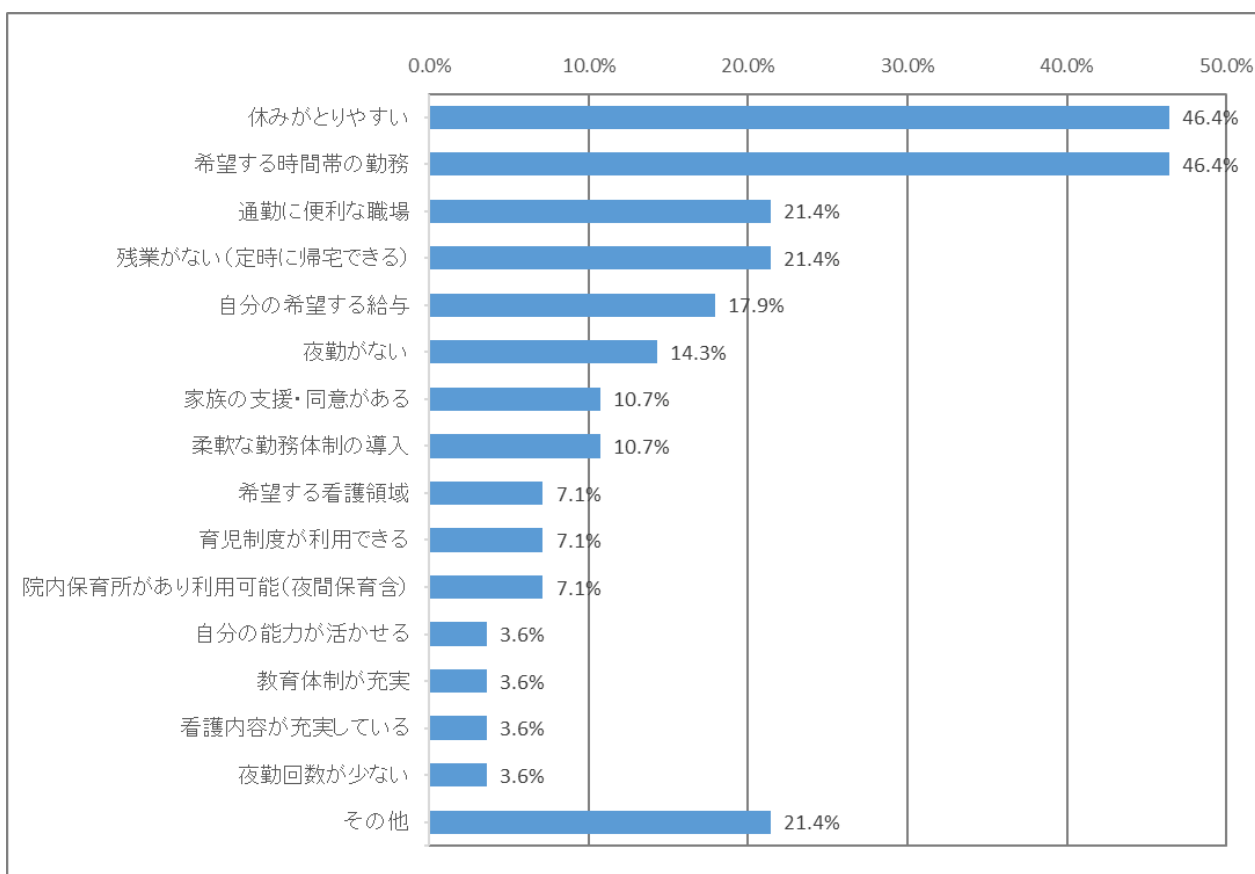


図 2 希望の就業条件

9. 再就業の条件について

○就職する際の希望の雇用形態は、「正職員」が最も多く 57.1%、次いで「非常勤職員」32.1%、「派遣」10.7%の順であった。

○就職する際の希望施設種別は、「診療所・クリニック」が最も多く 46.4%、次いで同率で、「介護福祉施設」「企業」28.6%、「病院（病棟）」25.0%の順であった。